
考える人。

河野夜兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
考える人。

【Nコード】
N6641L

【作者名】
河野夜兎

【あらすじ】
バカが自らを省みても、不幸になるだけです。考え過ぎると口くなことにならない。

自分の長所と短所を箇条書きで並べてみたら、圧倒的に短所のほうが多くてかなりへこんでしまった。

改善しなきゃいけない部分が沢山あり過ぎて、全然ダメなんだな…と。

今日は風が強くて少し肌寒い。

空を見上げたら、思わず口がぽかーんと開いてしまう位、どこまで見渡しても色調の変化がない無限に広がるようなセルリアンブルーだった。

散歩の途中に立ち寄った滑り台しかない小さな公園のベンチに座り、何となく携帯を開いて始めた箇条書き。

そう。自分の長所と短所だ。

長所——特にすぐれているところ。

・遅刻しないところ。

集合時間や出勤時間なんかには特に厳しい。

（10分前行動とかはもう当たり前で、人を待たせることは死刑に値すると思っている過激派）

・細かいことは気にしないと本人は思っているが、周りからは神経質だよねと言われる。（Why・・・？）

・掃除はかなり徹底的にする。特に水周り。

(でも除菌、除菌とうるさい人は苦手)

・料理はできるぞ。生きた魚も捌ける自称アンチ冷凍食品&お惣菜購入派

(これ：長所か?)

短所——劣っている点。

- ・空気が読めない
- ・口が悪い
- ・すぐ感情的になる
- ・心の声が口から漏れる
- ・ぐちぐち悩む
- ・すぐ泣くし、すぐ怒る

(情緒不安定)

- ・すぐにやさぐれる
- ・マイナス思考
- ・時々うえっへへ〜とバグる(ちょっと狂人要素)
- ・嫌いになるととことん嫌う(精神的に潔癖な部分がある)
- ・頭堅い(深刻)
- ・座椅子に座り胡坐をかく(オッサンかよ!)
- ・酒を飲むと何かが憑依する(最近はそうでもない)
- ・グロテスクなものが好き(スプラッタ観ながらご飯を普通に食す)
- ・最近、女ということを忘れる時がしばし……

うわあああ……………。

何だろう。すごいブルーになってきた。

ああ、…空がとても青いなあ。

携帯を握りしめて、渴いた砂の地面を見つめた。

「こ、このままでいいのだろうか…?」

つぶやいたら、更にブルーになった。

「変わらなきゃダメかなあ…?」

自分の心に問いかけてみたが、返答一切なし。

「もっと前向きに生きていかなきゃいけないかな?」 できたら、
とうの昔にやってるよ。

「もっと、口調を優しくしたほうがいいかな? もっと、天然オーラ
が出た可愛さが必要かな? もっと処世術を学ばなきゃいけないかな
? もっと冷静にもの事を考えなきゃいけないかな? もっとおしとや
かに、もっと学を身につけ、もっと、もっと……」

思い浮かぶことを並べるだけ並べて口に出したら、

「生きててごめんなさい」

…ああ、もうダメだ。

禁断のスペル（呪文）を唱えてしまった。

なんか、景色の色のトーンが三段階くらい下がったように感じた。

「もうだめかもしれない……。うん、きっとダメだ」

あゝあ…、私の人生って一体何なんだろう……。
酷く憂鬱になった。

何か目的があって生きてる人って、すごいよね。

強い人って素敵だね。

うらやましいな。（不幸になれ）

どうせ私なんて弱いよ。

ありんことタイマン張っても今なら余裕で負けるって胸を張ってもいいよ。

あ、ありんこみつけた。えい。（ぷちっ——）

あ、しまった、踏んずけちゃった。ゼロコンマ数秒で私、圧勝（ふん♪）

はっ！！！！ごめんね、なんて無益な殺生をしてしまったんでしょっ！！！！

オマワリサン、オマワリサン。ドウカワタシヲ、ツカマエテ、シケイニシテ、クダサイナ。

最低だ。私、弱いものイジメなんかして。私なんか、私なんか……

ドウセ、ワタシナカ、ミジンコイカヨ…。

顕微鏡でしか見えないくらいちっちゃい存在よ。ミジンコは私より世の中の役にたってるよ。

……どんなふうに関に立ってるとららう…？
わかんない、わかんないよ。だって、小学校でちよつと習った程度のことなんて覚えてるわけないじゃん。

…あ、私、記憶力さえも悪いんだ…。
そうだ、そうそう。

昨日の晩ご飯さえ忘れちゃうくらいだもんなあ。

ナンダツケ、キノウノバンゴハン、ナンダツケ：

思い出せないよ。昨日何してたのかもしれない。

「も、もしかして——若年性アルツハイマー？」

あゝん、やだやだやだあああ！！！！！

思い出せ、思い出すんだっ、私っ！！！！

がんばれ私っ！！！！

たまには根性見せてみろっ！（根性論なんてク×だね）

はっ！そうだ、ロダンの「考える人」になってみよう。そうしたら思い出せるかもしれないっ。

私は、「考える人」のポーズでうなった。

目を閉じたら、風が木々を揺らす音のボリュームが上がったように感じた。

うん、ちよっと気持ちが落ち着いてきたかもしれない。

遠くで犬がワンワン鳴いてる。

あ、今車を通ったな。

ん？なんかガヤガヤ声がある。小学生の下校時間かな？誰だよ、今うんこってシャウトした下品なクソガキっ！！！！（笑）

「てか、寒い。体が冷えてきた…」
考える人速攻中止。

ん？えーと私…、何を考えてたんだっけ？

…あ、そうそう、晩ご飯だ、晩ご飯。

とりあえず寒いから、ちょっと歩きながら考えようと思い立ち、

「晩ご飯、晩ご飯……」

私は公園から出て、東に向かい歩いた。

「晩ご飯、晩ご飯…、えーと、冷蔵庫には確か早く使わなきゃいけない食材があったはず…」

冷蔵庫の中身を思い浮かべたけど……

「お、思い出せない!!!!」

なんだっけ?なんだっけーっ!!

冷蔵庫の中身、なんだっけえええええーっ!!!!!!

早歩きで頭を抱える。

「なんだっけええ、ナンダツケ!!!!!!」

早歩きを更に早めて地面を見つめて一本道を歩く。

「あああああーっ!!!!!!」

もうっ!!!!!!イライラするうううっ!!!!!!」

まっすぐまっすぐ歩く。

「なんだっけっ!!!!!!てか、私、何を考えてたんだっ————!!!!!!」

しまった!

キキーーーーッ!!!!!!

「!!!!!!」

ドンッ——ッ!!!

(くっ、車にひ、かれた)
薄れゆく意識の中で私は思い出した。

(やかん 火に かけっぱなし
……………)

(終幕)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6641/>

考える人。

2011年10月5日13時11分発行